

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-01-15

## 平成21年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系) 成果報告

HOSEI UNIVERSITY, Library / 法政大学, 図書館

---

【法政大学学術機関リポジトリ概念図】



— 論文を世界へ発信 — **Hosei University Repository**  
法政大学学術機関リポジトリ

【『学術機関リポジトリ』の概要とそのメリット】

- 学術機関リポジトリとは... 研究成果を電子形態で、一元的に収集・蓄積・保存し、世界へ向け無償で公開・提供するシステムです。これにより、Google等のサーチエンジンの検索対象となります。
- 研究者にとってのメリットは... ①論文の可視性・顕性の上昇 ②研究成果の認知促進 論文の可視性・顕性は、世界規模で飛躍的に高まります。機関リポジトリによる発信は、引用回数の上昇が期待されれば多くの研究者の目に入ることであります。つまり、論文の認知度の向上、引用回数増進が期待できます。また、分散して保存されていた論文、報告書等を一括して容易に保存することができ、研究成果の整理・人管理から解放されること期待できます。
- 大学にとってのメリットは... 一つ目は、社会的責任を果たすことができる点。二つ目は、教育・研究機関としてのブランドを高めることができる点です。

【『学術機関リポジトリ』についてもっと詳しく】

学術機関リポジトリ 各キャンパス担当

統計から読みとれるニーズの高まり

機関リポジトリ	2007年6月～2008年5月	2008年6月～2009年5月
法政大学学術機関リポジトリ	1,100	4,012
JAIR0	1,200	2,201
QAlster	1,500	2,500
その他	500	1,000

順位	論文タイトル	被引用回数
1	...	...
2	...	...
3	...	...
4	...	...
5	...	...
6	...	...
7	...	...
8	...	...
9	...	...
10	...	...

●機関リポジトリへの登録されている論文の閲覧・ダウンロード件数は、機関的に伸びています(上記統計参照)。2009年5月の閲覧件数は、2007年5月と比較して約2倍の増加です。

●海外からの閲覧 国内だけでなく海外からの閲覧も増加しています(上記統計参照)。米国、韓国、フランスなどでは、ダウンロード件数は特に閲覧件数の多いことがわかります。これはGoogleやYahoo!法政大学学術機関リポジトリなどでのサーチエンジン等、キーワード検索など結果、閲覧件数となっていると考えられます。

●高頻度利用論文 2009年度(2008年6月～2009年5月)期間におけるダウンロード件数10位の論文の件数は、130件です(上記統計参照)。2007年1～2008年5月の期間では2007年1～2008年5月の期間では122件です。2009年5月末現在、高頻度論文は2007年5月末と比較して約1.5倍の増加が見られます。このことから利用頻度の高い論文が明らかになります。

●開かれた論文の活用状況 多くの研究者の方が、機関リポジトリに登録された論文を閲覧・ダウンロードしています。1ヶ月間の閲覧状況が、機関リポジトリを通じて公開されている論文の増加に貢献しています。世界中の研究者は注目を集めています。オープンアクセスにより論文が、機関リポジトリに公開されたことで、多くの研究者からの学術情報コミュニケーションと研究活動の活性化に貢献しています。

●登録された論文の活用状況 多くの研究者の方が、機関リポジトリに登録された論文を閲覧・ダウンロードしています。

- 登録コンテンツ数 2007年度末:1,100件/2008年度末:2,201件/2009年度末:4,012件
- 広報活動 学内者にリーフレット配布(①)・・・リポジトリ紹介サイト・リポジトリの利点等、全教員への周知
- 昨年度に挙げた課題 OPACとの連携=○(②) / 特色ある論文登録=○(③) / 登録論文の増加=△ / 紀要中心からの脱却=△

- ①学内者への周知に注力！ 学術雑誌論文の増加に貢献
- ②OPAC・横断検索対象にJAIRO・Cinii
- ③研究所所蔵資料の登録